

第12期食品成分委員会の調査事項の進捗状況について

第24回食品成分委員会資料5「食品成分委員会について（令和5年4月26日資源調査分科会）」の2調査事項についての（1）日本食品標準成分表の次期改訂への検討に記載の事項に関する進捗状況は以下のとおり

1. 日本食品標準成分表の次期改訂方針やあり方について

第25回食品成分委員会（令和5年12月5日開催）において、以下のような方針を内容とする「今後の分析食品の考え方等について」（以下「委員会申合せ」という。）を申し合わせ。

- ・ 主要な食品の未収載成分（食物繊維（AOAC. 2011. 25法）、アミノ酸組成、脂肪酸組成、利用可能炭水化物組成等）の分析、分析結果に基づく成分値の検討、収載値案の確定が終了した段階で食品成分表を取りまとめ、公表
- ・ 令和6年度以降、現在の流通実態に即した食品成分表となるよう、収載食品の再分析を重点的に実施
- ・ 再分析に当たっては、国民健康・栄養調査等を参考に、たんぱく質・脂質・炭水化物の寄与度が上位の食品、摂取量が上位の食品等を優先

2. 収載食品の更新・充実について

(1) 食品分析について

- ・ 令和5年度の食品分析に関する委託事業を実施
- ・ 令和6年度の食品分析に関する委託事業を実施中
- ・ 令和7年度の分析食品リスト案を検討

上述のとおり、委員会申合せに基づき、優先すべき食品の再分析を中心に検討。

(2) 収載食品・成分の充実

- ・ 令和5年度以前に分析された食品について収載値（案）を食品成分委員会で検討（令和7年度中に公表予定）
- ・ 第11期までに検討した収載値により日本食品標準成分表2020年版（八訂）のデータの一部を更新・追記した日本食品標準成分表（八訂）増補2023年を令和5年4月に公表

3. 食品成分データの利活用推進方策の検討と精度・信頼性の向上

(1) システム化について

- ・ 委託事業（令和5年度開始）により、分析データの受入れから収載値案の検討、データ提供の一貫体制を念頭にした日本食品標準成分表の次期データベースの調査を実施中

(2) 英語版の作成等について

- ・ 令和5年度の委託事業により日本食品標準成分表2020年版（八訂）の英語版（草稿）を翻訳アプリケーションを主に使用して作成。公表に向けて調整中

4. 国内外動向調査について

(1) 国内動向について

- ・ 関連施策（食品表示、食事摂取基準等）での日本食品標準成分表に関連する事項の検討状況の把握に努め、それらも踏まえた日本食品標準成分表の在り方等を検討中
- ・ 「依頼による食品分析データの受入れについて」（第9回食品成分委員会（平成26年1月24日了解））に基づき、公的機関や団体等からの相談や依頼に対応

(2) 国外動向について

- ・ 令和5年度の委託事業により諸外国等の食品成分データの整備手法等の実情等動向調査を実施
- ・ 令和6年度の委託事業により諸外国等の食品成分データの利活用等に関する動向調査を実施中